

勝山市報

3月31日 No. 92

主な目次

- ◇市制以来の大型予算成立.....(2)
- ◇三月市会の一般質問の要旨.....(2)(3)
- ◇ことしの事業は.....(3)
- ◇母子家庭子ども激励会.....(4)

昭和二十五年七月二十七日第三種郵便物認可
毎月二十日（日）（二回発行）
勝山紙報山下部第九十二号
昭和二十七年二月三十一日発行



こんなことにならないように！

当市の昨年の火災二十件のうち四割は春、発生していることから、春はまさに火災シーズンといつてよい。火事を出さないためには、まず火のおそろしさを知ることであるかろうか。

もう六十七年前のことだが、——明治二十九年四月十三日午後九時、立石から火が出て、勝山町の大半を焼いた大火事があった。

原因はイロリの不始末といわれている。たった一人のチヨットした不注意で、三十七名の死傷者と千四百戸の家を全焼、いまの金で十一億二千万円の被害である。ひとり一人が火の元に注意してほしい。火事のおこりやすい危険物を取り扱っておられる人は特にお願いしたい。

すさまじき火の災を
わするなよ

人のなげきを省りみて
（大火当時の関源右二門
勝山町長の遺訓）

昨年に続いて560万円減税

市制以来の大型予算成立

一般会計 5億2千338万円
特別会計

- ◆みなさんと極めて関係のふかい新年度予算案や五百六十万円
- ◆市の市民税減税案などを審議する三月定例会は、さる十日
- ◆二日から十九日間にわたってひらかれました。
- ◆市会では、委員会あるいは本会議などで慎重審議した結果
- ◆職員退職手当の臨時特例条例の一部改正案をのぞき、原案
- ◆どおり可決、三十日午後四時開会しました。
- ◆これで市制以来の大型積極予算、五億二千三百三十八万七
- ◆百円(一般、特別会計)が成立、昨年度より約八千万円多
- ◆くになっております。
- ◆幸い合併どきのこげつき借金六千三百三十八万七千円を完
- ◆済、ようやく財政的に一本立ちになり、三頁のように他市
- ◆水準以上の事業費二億千万円を計上、内容的にもみなさん
- ◆のご要望をできるだけおこしだ予算が実現しました。
- ◆この反面、去年にひきついで市民税(個人)五百
- ◆六十万円を減税、これで市の平均的な給与所得者へ
- ◆年三十万円、扶養家族二人は去年より九百六十円
- ◆市民税がやすくなります。
- ◆このような重要な議案が市会に上程されていただけ
- ◆にはとんど連日、突にかっぱな討論や建設的な意
- ◆見の交換などがおこなわれ、ときには深夜まで審議
- ◆がつづけられたこともあったくらいです。
- ◆なお、みなさんから市会に陳情された下記の件は全
- ◆部採択されました。

市政一般質問

水道問題

長谷川議員

- 一、水道建設事業が一年遅延した理由は何か。
- 二、配水池敷地の立木補償は過少評価でないか。

光明助役

- 一、用地交渉がスムーズにいかなかったことと災害で労費が上り入札が悪うようにいかなかった

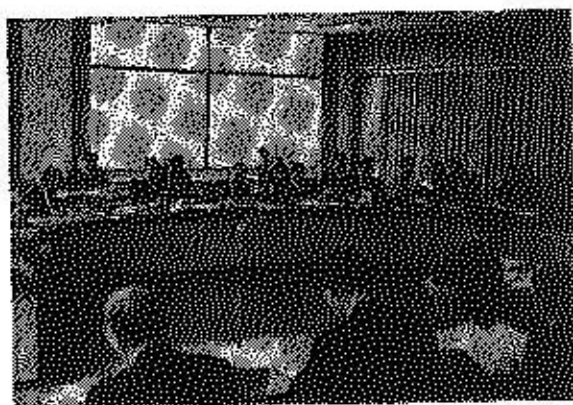
- ためである。
- 二、買収対象を当初より拡大したが、大体よいと思う。

山下議員

- 水道建設事業の収支のバランスをよく考え、将来給水家庭や一般会費を圧迫しないように再検討し運営すべきでないか。

山内市長

- 市の水道建設は大体成功している。当初計画どおり、一般会計からの繰り出しをやらなければならぬが、これは何れの市で



もっている。この事業の将来については、心配する必要はないと思う。

高須議員

- 配水池のジーゼルポンプ修繕費を予算化してない理由は、

光明助役

- 項内流用をした。

教育問題

石田議員

- 一、市内の各公民館の館長の配置に不均衡はないか。
- 二、勝山公民館に併設されている成器幼稚園を独立する対策を考へるべきだ。

田中教育長

- 一、ないと思っている。

市 長

- 二、計画はあるが財源の都合上、まず具体化できない。しかし近年中に南校管下の園児を収容する幼稚園を専売公社敷地に建設するつもりでいる。

山岸敏夫議員

採択された皆さんの陳情……

- ▽幼稚園の設立について(下後)
- ▽勝山高等学校本館建築費地元負担金の借入に要する利子補給について
- ▽ヘリコプターによる水稲病虫害の一斉防除費に対する助成について
- ▽青年団助成金の増額について
- ▽織物振興対策事業に対する助成について
- ▽成器南小学校南側の市道舗装について
- ▽社会教育施設の充実等について
- ▽荒土小学校雨天操場の改善について

教科書無償配布、教員の勤奨退職についてどう考えているか。

教育長

- 県教委の方針のもとよく考えてやりたい。

高須議員

- 全日制工業高校の設置運動を強力にやるべきだ。

教育長

- そのような方針ですすみたい。

産業、土木問題

燐山議員

- 土木費の増額率が低いのではないか。今後追加する考えはないか。

市 長

- 内容的には三十六年度より充実している。今のところ財源がないので、追加するということは明言できない。

燐山議員

- 一、農業近代化資金と中小企業設備近代化資金の利子補給を同額にすべきだ。

市 長

- 二、農業関係の各種団体の統合をはかってはどうか。

燐山議員

- 一、農業近代化資金と中小企業設備近代化資金の利子補給を同額にすべきだ。

市 長

- 二、農業関係の各種団体の統合をはかってはどうか。

燐山議員

- 一、農業近代化資金と中小企業設備近代化資金の利子補給を同額にすべきだ。

市 長

ことしの事業は

投資事業費 二億一千二十二万円！

《害復旧に》

土木復旧1,489万3千円 農地林道
復旧3,798万円 校舎復旧70万9千円
計 5,358万2千円



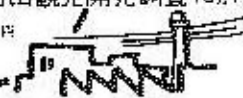
保育所改築などに

南保育所改築 752万6千円
汚物収集車65万円 中央保
育所通路13万円 簡易水道
補助21万8千円
計 852万4千円



商工業の 振興に

商工振興対策65万円 商工振興諸事
業利子補助93万5千円 スキーリフト
補助35万円 白山観光開発調査10万円
計203万5千円



学校・公民館の 建設に

鹿谷小屋体1,256万円
遅羽公民館新築850万5千円 村岡中増
築435万3千円 水泳場建設450万円 野向
校給食室50万円 杉山分校職員住宅
48万円 西校、北谷小学校庭整地50万円
雁ヶ原射撃場24万円 施設整備など
147万8千円
計3,511万6千円



土地改良や 農林振興に

大用水事業1,344万円
土地改良補助245万3千円
農林振興補助257万9千円
土壌調査60万円
計1,907万2千円



消防庁舎建設などに

消防庁舎建設844万3千円
小型ポンプ8台防火水
槽など284万9千円
計1,129万2千円



市有林の 植林事業に

天皇陛下ご
来県記念造
林15ha 保安林改良な
ど481万3千円
計481万3千円

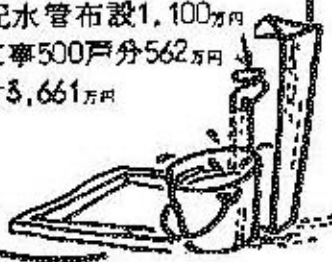
林道と 造林補助に

小原林道1,500万円
造林補助145万6千円
計1,645万6千円



水道事業に

水源池ポンプ所倉庫120万円
送水管布設230万円 配水池建設
1,649万円 配水管布設1,100万円
給水新設工事500戸分562万円
計3,661万円



道路橋川の改修に

道路新設舗装868万5千円 橋の整備
130万円 都市計画57万5千円 長山公
園造成210万円 下水路495万円 失対
事業448万3千円 土木機械購入ほか
253万円
計2,462万3千円



一、前者は国の方針によるものであり、後者は市独自の方針にもとづくものであるから、同一に考えることはむづかしい。
二、国や県の方針で補助金がついているものが多いが、どの市町村でもあるので統合は早急にはむづかしい。
久保議員
土壌調査の実施計画についてききたい。

市 長
新年度予算で五十万円計上してあるが、十分ではないので、なお努力したい。

厚生問題

山岸敏夫議員

一、公営住宅建設をなぜ予算化しなかったか。三十七年中に着手する考えはないか。

二、国民健康保険の被保険者の税負担を軽くするため一般会計からくり入れてはどうか。県下の他市にさきかけて世帯主七割給付に引き上げてはどうか。

三、融雪水路の設置、不潔水路の改良に意を用うべきだ。

市 長

一、財源の都合上やむなく予算化できなかったが、三十八年以後には実現したい。

二、保険税は他市にくらべて高くない。給付の引き上げは困難である。

三、努力したい。

高須議員
公益質壁の残務整理はどうなっているか。

川原民生議員

現在、一八点、四万八千円未満のまゝになっているが、近くあと数点を残し処分できる。

久保議員

一、清掃指導員はどのようなことをしているか。

二、衛生車が猪野口に汚物をすてて困るという苦情が地元から出ている。善処すべきだ。

出口保健課長

一、清掃検査、汚物処理の指導にあたっては、

二、事情調査し善処する。

そのほか

山岸敏夫議員

職員が超過勤務手当を条例により支給すべきだ。

坂井鶴務課長

財源がないので十分支給できない。

山内富栄議員

白山立公園の昇格通知があったか。今後の開発方針はどうか。

市長

昇格は審議会内で内定しているものでまちがいない。開発については県と協議し、また専門家の意見をきき努力したい。

山岸敏夫議員

一、但書の課税方式であるため、控除額が少ないのではないか。

二、市民税は人衆課税的要素が強い、これは国が地方税を独立させ不足分を補填しないことによるものである。これについてどのように中央に働きかけているか。

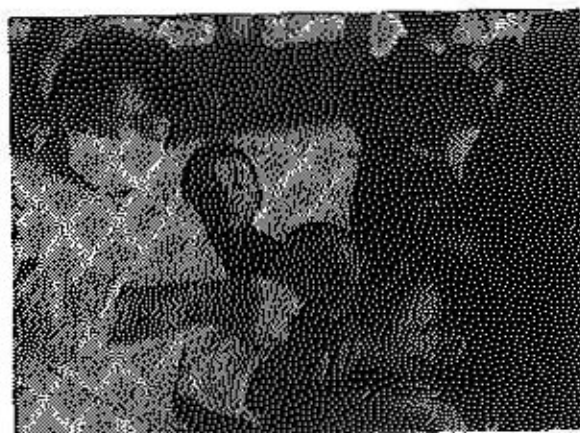
山口財務課長

一、但書方式は全国の市の八割が採用している。控除額は他市にくらべ少ない。

市長

二、全開市長会を通じて働きかけをしている。

昭和三十一年七月二十七日
第三回臨時市議会
第五十二号(二)臨時議案



小児まひの完全予防に！

勝山保健所と市保健課では、おそろしい小児まひを完全に予防するため、このほど市内各地で、生後三ヶ月から小学校六年までの子どもたちに経口生ワクチン（予防薬）をのませました。

なお、次回は五月に予定しています。

進学と就職を祝つて

母子家庭子ども激励会

この春、中学校を卒業する母子家庭の子どもたちの進学と就職をお祝いする激励会は、さる二月二十八日午後所でひらかれました。

招かれた子どもたち七十一名（うち三十六名は女子）は、松下厚生理事長、山内市長、山内市社会福祉協議会長代理、白木市末亡人連合会長らから、あたたかい激励のことばを受けました。

これに対し、勝中三年山岸孝君が代表して、「ここまで育ててくださったお父さん、お母さん、心から感謝します。お父さんがいなくても、これからはワンとがんばります」と力強く答辞を述べ、夢のおかあさんたちを感激させました。



なお、この子たちに県からアルバム、市から記念写真とお祝いの紅白まんじゅうをおくりました。

ことしの一般会計予算の内訳

(単位円)

種別	歳出予算額	種別	歳入予算額
義捐金	9,192,200 2.4%	市税	159,980,000 42.4%
市役所	64,964,700 17.2	地方交付税	55,000,000 14.6
消防	17,959,700 4.8	公営企業及財産収入	5,849,000 1.6
土木	46,746,000 12.4	分損金及負担金	17,270,300 4.6
教育	77,127,700 20.5	使用料及手数料	6,202,200 1.6
社会及労働施設費	37,325,500 9.9	国庫支出金	40,466,200 10.7
保健衛生費	6,398,700 1.7	県支出金	48,908,400 13.0
産業経済費	81,493,000 21.6	寄附金	2,623,000 0.7
産業調査費	1,100,300 0.3	繰入金	2,935,500 0.7
統計調査費	131,200 0.03	繰越金	300,000 0.1
選挙費	887,300 0.24	雑収入	8,053,800 2.1
支出金	28,817,400 7.63	市債	29,700,000 7.9
支備費	4,144,500 1.1		
計	1,000,000 0.2	計	377,288,200 100.0
	577,288,200 100.0		

<特別会計>

一 一般会計	三億七千七百二十八万八千二百円
基本財産造成会計	八百九十九万五千五百円
奨学資金会計	三十九万九千円
水道建設事業会計	四千二百六十万円
給水事業会計	二千五百万円
簡易水道事業会計	四十一万円
公共用地造成会計	千七百四十万円
国民健康保険事業会計	五千二百二十九万六千円
計	五億二千三百三十八万七千七百円

発行所 勝山市役所
発行人 市長 山内 隆 喜

印刷 五木印刷所

定価 一紙五円

○ とじておきましよう